

2012年12月4日

## プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 日興アセット、グローバル運用体制を強化

～ 日本ならびに海外拠点の運用業務を統括する CIO を任命 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、事業拡大に伴うグローバル運用体制の強化を目的に、2013年1月7日付で以下の人事異動を行ないますのでお知らせいたします。

日本国内の運用を統括する CIO(最高投資責任者)ーアジアに、日興アセットの現アクティブ運用本部長 辻村裕樹が就任します。また海外拠点の運用部門を統括する CIOーインターナショナル・インベストメンツには、ユーミン・ワンを任命します。

辻村は国際金融市場における豊富な経験をベースに、日本で運用する国内外の全資産クラスの運用を統括します。ワンは、アジアの運用業界における豊富な経験を背景に、海外運用体制の強化、ならびにアジアでのオルタナティブな債券戦略であるバンクローン運用などの新たな運用戦略の開拓を通じ、日興アセットのアジア成長戦略を遂行する一翼を担います。

辻村は、2010年8月より日興アセットのアクティブ運用本部長として、株式運用、債券運用、およびオルタナティブ運用の各部門を統括しています。2004年に日興アセットに入社し、ニューヨーク現地法人の日興アセットマネジメント アメリカズ・インクの CIO として運用部門を統括したほか、日興アセットのオルタナティブ運用部門のグローバルヘッドなどの要職も歴任してきました。それ以前はニューヨークの日興証券インターナショナル(NSI)の取締役副社長を務め、ヘッジファンドの運用に携わったほか、NSI エクイティ・トレーディング部門では自己売買部門を立ち上げるなど、約12年にわたる米国での運用・証券業務の経験を有しています。また日興証券(現 SMBC 日興証券)では、米国証券会社との合弁会社を設立し、副社長兼最高執行責任者を務めるなど、同社の事業拡大を押し進めてきました。

ワンは、資産運用において約20年の経験を有し、特にアジア債券運用で卓越した実績を上げてきました。前職のマニユライフ・アセット・マネジメント(香港)リミテッドにおいては、アジア債券や中国人民元建て債券運用に強みを持つアジア債券運用部の統括責任者を務めました。それ以前は、米国ワコビア・コーポレーションのマネージングディレクターとして債券運用部門の設立に貢献したほか、グローバルマーケットおよび投資銀行業務の責任者として台湾初のアジア債券ファンドや中国人民元建て債券ファンド、グローバル REIT ファンドを立ち上げるなど、中国・香港・シンガポール・台湾などのアジア主要市場で数多くのプロジェクトを手がけてきました。

日興アセットでは、アジアを代表する資産運用会社をめざし、グローバルでの事業拡大を着実に進めてまいりました。現在では、世界11カ国・地域、21拠点のグローバルネットワークを擁し、運用資産残高は過去10年弱で約6兆円<sup>1</sup>から約12兆円<sup>2</sup>へと2倍に成長しています。この運用資産のうち日本国外で運用されているのは約30%<sup>3</sup>にのぼります。今回の人事異動は、国内外の積極的な事業拡大に伴うもので、グローバルベースでの運用体制の強化を図ります。

<sup>1</sup> 2004年3月末時点

<sup>2</sup> 2012年9月末時点

<sup>3</sup> 2012年9月末時点。日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含みます。)

今回の人事に関して、日興アセットの取締役社長兼 CIO であるビル・ワイルダーは以下のように述べています。「グローバル市場を熟知し、アクティブ運用に強みを持つ辻村と、アジア市場での豊富な経験を持ち、債券運用における卓越した手腕を有するワンの 2 名の新 CIO のもと、日興アセットマネジメントグループ<sup>4</sup>はグローバル運用体制を一段と強化してまいります」。

以上

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメント\*(以下、日興アセット)は、アジア・オセアニア地域を中核として展開する「アジアの資産運用会社」で、運用資産残高約 12 兆円\*\*を有します。1959 年の設立から半世紀以上にわたり、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、年金基金や事業法人などの機関投資家のみなさまには付加価値のある高品質な運用サービスを提供しています。

日興アセットは、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など国内の販売チャネルと、海外に広がる販売チャネルをあわせて、アジア・オセアニア地域で最大規模の 300 社超の販売ネットワークを通じてお客さまに投資信託を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の運用力を活用する「ワールドシリーズ・ファンド・プラットフォーム」により、お客さまのニーズに合った幅広い商品をご提供しています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。また、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興アセットが擁するネットワークは、東京本社をはじめ、シンガポール、香港、マレーシア、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランドとアジア・オセアニアの 8 つの国・地域に広がっており、地域ごとに現地の特性に応じた経営を展開する「マルチ・ローカル戦略」を実践しています。ロンドンならびにニューヨークにもオフィスを構え、米国・欧州ならびに中東で投資家のみなさまにサービスを提供しています。

\*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含みます。)の 2012 年 9 月末現在のデータ。

## 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: 社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

<sup>4</sup> 日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称